市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧	大浜地区歴史遺産活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章1（4）ア 観光振興「いしがき」ぷろジェクト
担当部課名	文化財課	事業実施（予定）年度：平成25年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	大浜地域は、多様な歴史遺産が存在する地域であり、これらの歴史遺産とフルスト原遺跡を連結させる紐帯として隣接地を購入し、公園広場と来訪者の駐車場を整備する。			
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,441	26,748	26,748		
予算の状況	(b) 予算現額	16,453	26,748	25,484		
予算の状況	(c) 増減額 (b-a)	12	0	▲ 1264		
予算の状況	(d) 繰越額	0	0	0		
予算の状況	A. 計 (b+d)	16,453	26,748	25,484		
B. 執行済額		16,452	513	24,863		
うち交付金充当額		13,161	409	19,890		
次年度繰越額		0	25,484	0		
執行率（%）(B/A)		100.0%	1.9%	97.6%		

予算の状況の説明：事業用地を買い上げた後、同用地に存する鉄骨プレハブの解体撤去工事を行なった。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		25年度	26年度	27年度	28年度
用地取得完了	目標	（　1，432㎡　）	（　2，179㎡　）	（　）	（　）
用地取得完了	実績	1，432㎡	2，082㎡		
プレハブ撤去完了	目標	（　－　）	（　プレハブ1棟　）	（　）	（　）
プレハブ撤去完了	実績		プレハブ1棟		

達成状況説明：農地法の適用を受け、また、登記名義人は故人となっており、遺産分割協議等、関係機関との調整に不測の日数を要したことから繰越事業となったが、用地を取得し、既存建物の撤去を実施することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
用地取得完了	目標	（　）	（　1，432㎡　）	（　2，179㎡　）	（　）	（　）
用地取得完了	実績		1，432㎡	2，082㎡		
プレハブの撤去完了	目標	（　）	（　―　）	（　撤去完了　）	（　）	（　）
プレハブの撤去完了	実績		―	撤去完了		

進捗状況説明：農地法の適用を受け、関係機関との調整に不測の日数を要したことから繰越事業となったが、用地を取得し、既存建物の撤去を実施することができた。

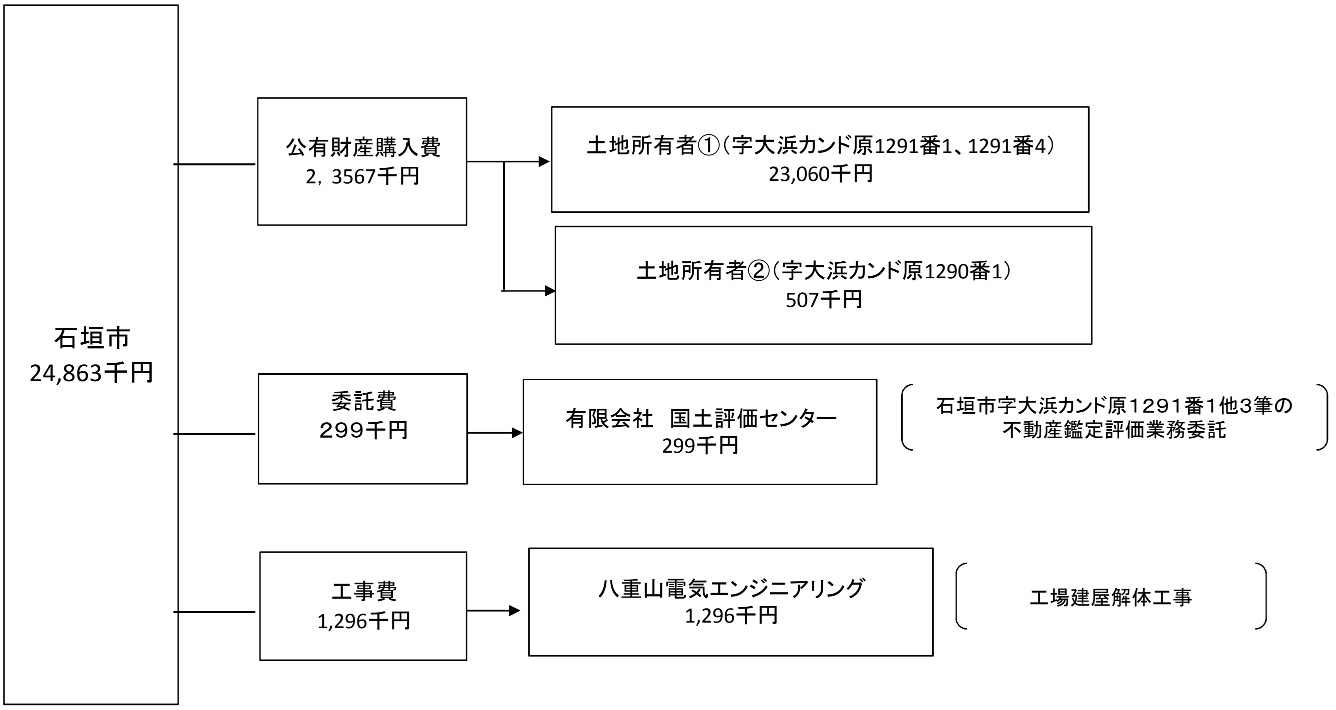
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	石垣島空港開港後、観光客は増加し、近年はクルーズ船の寄港もあり、国外からの来訪者も増えている。とくにレンタカーによる島内観光は盛んである。大浜地域は国指定史跡フルスト原遺跡をはじめ、多様な文化遺産が在している。これらの文化遺産を連結させるため公園広場の整備を実施する。この広場を拠点とし、周辺の歴史、文化遺産を巡り来訪者の八重山に対する深い理解に資する必要がある。	隣接する国指定史跡フルスト原遺跡の整備とタイアップし、より効果的な活用を図っていきたい。

今後の取り組み方針

用地の取得が遅れたため、具体的な整備は28年度で行うべく年度計画を変更した。今後、歴史遺産広場（駐車場、芝生広場、インフォメーション広場等）の整備を実施し、来訪者の便宜を図るべく充実した整備を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,863	24,863	19,890	4,973	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○解体工事は、随意契約となっている。目的、性質上、相手が限られているため妥当と考えられる。 ○予算規模は、土地購入については独自評価及び土地鑑定評価書をもとに、金額を決定しており妥当と考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑨	石垣市民会館設備改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施（予定）年度	H24～H26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a) 当初予算額	24,469				
	(b) 予算現額	47,149				
	(c) 増減額（b-a）	22,680				
	(d) 繰越額		4,469			
	A. 計（b+d）	47,149	4,469			
B. 執行済額		37,476	4,320			
うち交付金充当額		29,980	3,456			
次年度繰越額		4,469				
執行率（%）（B/A）		79.5%	97%			
予算の状況の説明	・設計期間の延長により繰越となったが、活動目標の達成状況を鑑みて適正で有ったと考える。					

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
大ホールミキサー卓購入	目標	（　購入　）	（　）	（　）	（　）
	実績	購入済			
石垣市民会館大ホール照明調光操作卓の購入	目標	（　購入　）	（　）	（　）	（　）
	実績	購入済			
達成状況説明	音響設備改修により大ホール用音響調整卓及び移動卓並びに調光操作卓を購入した。また、その他に空調改修工事にむけ設計委託を行った。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
公演誘致に適した環境の整備	目標	（　）	（　整備　）	（　）	（　）	（　）
	実績		整備済			
進捗状況説明	音響及び照明の操作卓の購入によって、これまで以上に様々な公演に対応できるようになり、公演誘致をするうえでの環境整備を整えることができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設計書の作成にあたり過去図面のCAD起し等に時間を要したため期間延長を余儀なくされ繰越での対応となった。	・改修予定工事において過去図面のデータ起し等に時間を要する事からそれらを考慮した上で入札を行う。

今後の取り組み方針
・年次的に改修工事を行い、演者・観客共に喜ばれる環境を整備していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,796	41,796	33,436	8,360	0

石垣市
41,796千円

- 備品購入費 37,476千円
  - → 総合特機 14,796千円 （音響調整卓及び移動卓購入）
  - → 丸茂電機株式会社 22,680千円 （調光操作卓購入）
- 委託料 4,320千円
  - → 石堂設計室 4,320千円 （空調設備改修設計業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は実績、知識等を勘案した上で指名競争入札を実施しており妥当であったと考える。 ・予算規模は適切であったと考える。 ・費目・使途については事業目的の観点から必要な物なのか等について額の選定時において支出等に関する書類により確認、適切あった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	観光施設整備及びキャンプ場誘客整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　施設管理課	事業実施(予定)年度: 平成25年～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光客の受入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備、改修を行う。			
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	45,500	40,500			
	(b)予算現額	5,500	40,500			
	(c)増減額(b-a)	▲ 40,000	0	0		
	(d)繰越額	―		21,396		
	A. 計(b+d)	5,500	40,500	21,396		
B. 執行済額		5,322	13,756	19,596		
うち交付金充当額		4,257	11,004	15677		
次年度繰越額		0	21,396	0		
執行率（%）(B/A)		96.8%	34.0%	91.6%		

予算の状況の説明：当地区は西表石垣国立公園に指定されていることから環境省との協議が必要であり、本事業の執行にあたり、同省との調整に想定外の時間を要したため、年度内の完成が困難となったため繰越した。

活動目標(指標)及び達成状況

H26活動目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度
観光施設等の改修整備：1か所	目　標	（　1カ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1カ所			

達成状況説明：平成25年度に計画策定を実施し、平成26年度に米原キャンプ場の改修整備を実施した。一部トイレとシャワー室の実施設計、建築工事、機械工事、電気工事を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H26成果目標(指標)		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
観光施設等の改修整備完了：1か所（米原キャンプ場：トイレ、シャワー等）	目　標	（　）	（　1か所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1か所			

進捗状況説明：米原キャンプ場のトイレ・シャワーの改修を実施し、平成27年5月末に整備が完了している。平成27年6月から供用が開始しており、使い勝手がよくなったことで利用者の安全衛生面が向上している。

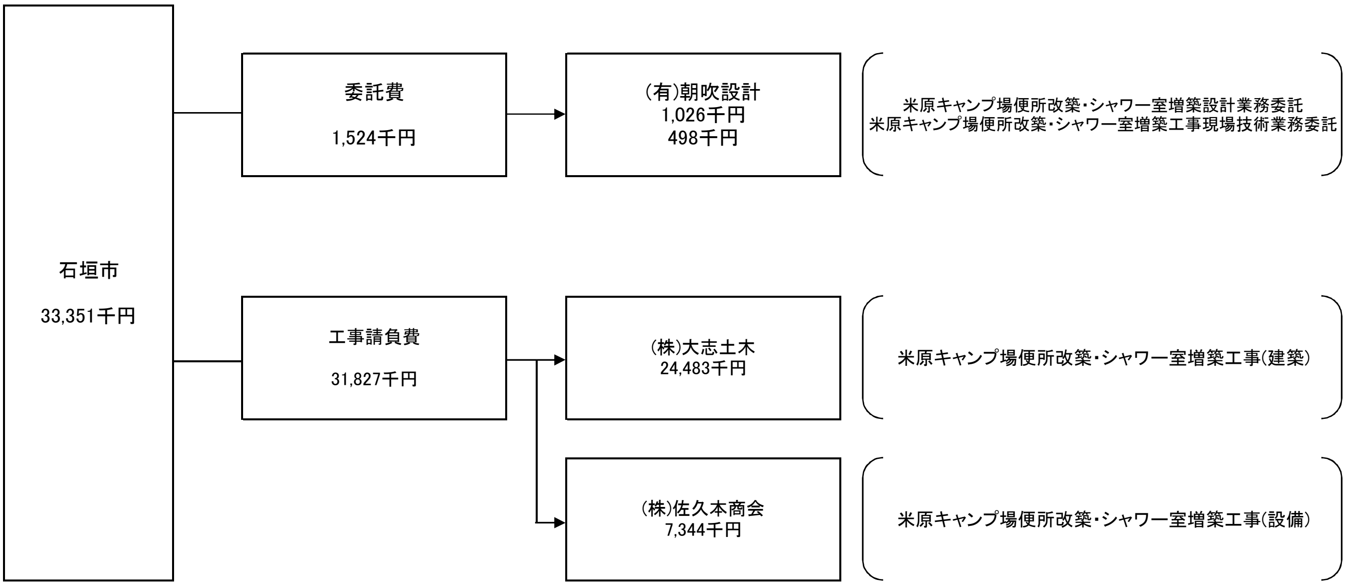
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	石垣市観光施設・観光地再整備計画に基づき、重点観光施設・観光地を次の3つを設定した。 「米原キャンプ場」「底地海水浴場」「玉取崎展望台」 この3つの観光施設・観光地について再整備を行う。 この3つの観光施設・観光地は国立公園に指定される。 米原キャンプ場再整備の際も自然保護法に基づき、環境省との調整が必要である。	3つの観光施設・観光地は国立公園に指定されているため、自然保護法に基づき、環境省との調整が必要である。 自然保護法による樹木の伐採の制限等により、設計や工事の内容が制限されるため、自然を活かした設計にする。 また、環境省との調整に想定外の日数を要することがあるため、環境省との調整日数を考慮する。

今後の取り組み方針

石垣市観光施設・観光地再整備計画に基づき、平成27年6月に一部施設の再整備を行った米原キャンプ場につづき「玉取崎展望台」「底地海水浴場」「米原キャンプ場」の3つの観光施設・観光地について再整備を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,352	33,352	26,681	6,671	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について補正減額が7,147千円あり、入札残によるものとはいえ、当初の予算計上方法に課題が残る。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－④	バス停上屋整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　港湾課	事業実施(予定)年度：平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	新空港の開港に伴い、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、バス停留所上屋を整備する。			
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	26年度(繰越)
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	―	4,000	18,500	―
予算の状況	(b)予算現額	20,000	―	4,000	18,500	―
予算の状況	(c)増減額(b-a)	0	―	0	0	―
予算の状況	(d)繰越額	―	20,000	―	―	5,035
予算の状況	A.　計(b+d)	20,000	20,000	4,000	18,500	5,035
B.　執行済額			19,716	3,733	13,465	4,987
うち交付金充当額			15,773	2,986	10,772	3,989
次年度繰越額		20,000	―	0	5,035	―
執行率（%）(B/A)		0.0%	98.6%	93.3%	72.8%	99%

予算の状況の説明：平成26年度は前年度より引き継いだバス停留所上屋の残分を建築。及び、離島ターミナルからバス停留所までの連絡通路上屋の設計を行った。平成26年度繰越において、連絡通路上屋の建築を完了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H26活動目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
バス停上屋整備:1箇所	目　標	（　5箇所　）	（　1箇所　）	（　1箇所　）	（　）
	実　績	6箇所	1箇所	2箇所	

達成状況説明：前年度に引き続き、離島ターミナルでもバス停上屋を整備した。また、当該施設の利用状況に鑑み、連絡通路上にも同様の機能（日差し、雨避け）を有する上屋を整備した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H26成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
バス停上屋整備完了	目　標	（　）	（　5箇所　）	（　1箇所　）	（　1箇所　）	（　）
	実　績		6箇所	1箇所	2箇所	

進捗状況説明：平成27年7月より供用を開始し、強い日差しや雨天時においてもバス停留所にて待機する観光客が見られるようになり、施設の利便性が上がったと認識している。

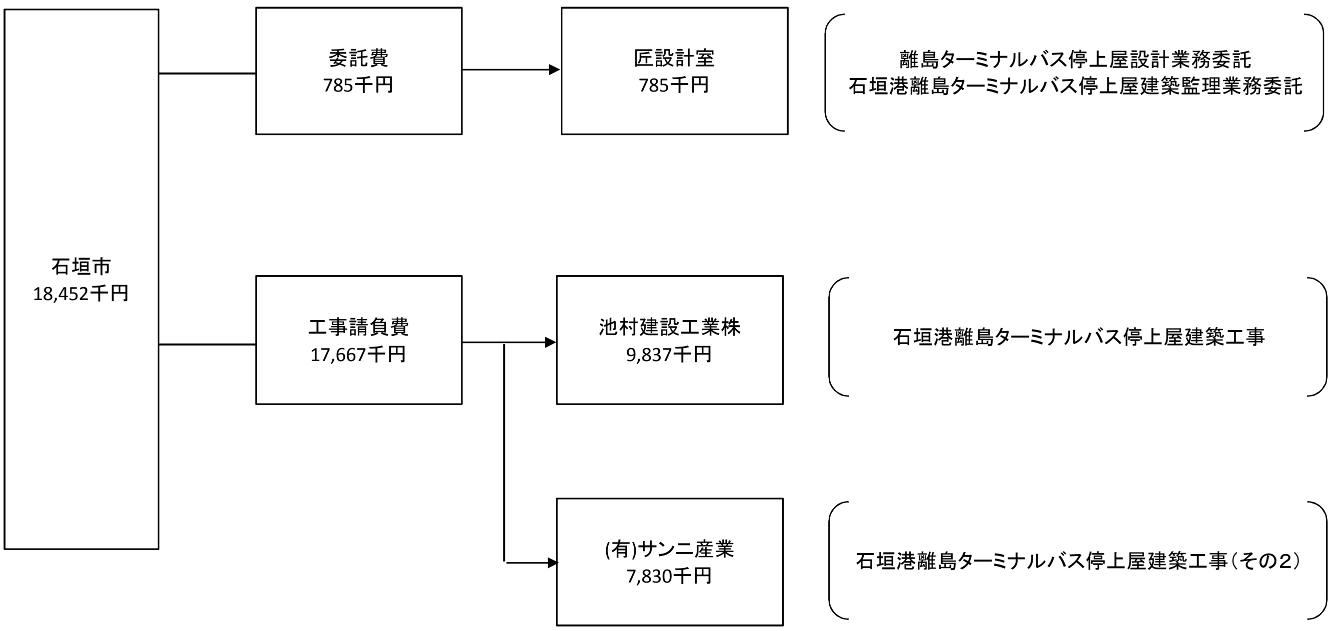
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	利用者等から離島ターミナル内のバス停上屋の早期の整備を求められ、平成26年度より事業担当課が商工振興課より、当該施設を管理する港湾課に移行。 改めてバス停上屋の必要性を再検討し、離島ターミナルからバス停留所までの移動ルートにある連絡通路上にも上屋を整備することとなった。	事業の引き継ぎに遅れたことで、当初計画より工期が大幅に遅れてしまったため、今後同様の案件があった際には早い段階での調整を行い、余裕をもった工期設定を行いたい。

今後の取り組み方針

平成27年7月より供用開始しており、雨天時にもバス停留所にて待機する観光客が見られるようになった。今後は施設の維持管理につとめる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,452	18,452	14,761	3,691	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について不用額は48千円であり、適正な規模であったと考えている。
―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	川平風致公園観光利便性向上施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客受入体制の整備
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度：平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

川平湾を訪れる観光客の利便性の向上や地域振興の為、物産販売所やグラスボートのチケット売場などの施設を統合した施設の基本設計業務を行う。また、公園区域外市有地の利活用のための測量設計を行う。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
予算の状況 (a) 当初予算額	5,000	―	30,000	―	
(b) 予算現額	4,725	―	10,752	―	
(c) 増減額 (b-a)	▲ 275	―	▲ 19,248	―	
(d) 繰越額	―	4,725	―	6,000	
A.　計 (b+d)	4,725	4,725	10,752	6,000	
B.　執行済額	0	4,725	4,752	4,557	
うち交付金充当額	0	3,780	3,801	3,646	
次年度繰越額	4,725	0	4,752	0	
執行率（%）(B/A)	0.0%	100.0%	44.2%	76.0%	

予算の状況の説明

当初、公園区域内の施設基本・実施設計を計画していたが、新空港開港に伴う観光客増加により、公園内の駐車場不足に対応するため、早急に公園区域外の利活用に向けて取組む必要が生じ、今年度に測量設計を実施し、公園区域内施設の実施設計を翌年度へ変更した。計画変更及び測量設計委託費の入札残により委託費19,428千円を減額した。公園区域内施設基本設計において、別関連事業で施設設置予定場所である造成計画遅延に伴い発注が遅れたため、委託業務費6,000千円を平成27年度に繰越した。繰越額のうち1,443千円は公園区域内施設基本設計委託費の入札残によるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		25年度	26年度	27年度	28年度
観光利便性向上施設の基本設計の実施	目　標	（基本計画策定の実施）	（基本設計実施）	（　）	（　）
	実　績	基本計画策定の実施	基本設計実施		
隣接市有地活用のための測量設計の実施	目　標	（基本計画策定の実施）	（測量設計実施）	（　）	（　）
	実　績	基本計画策定の実施	測量設計実施		

達成状況説明

観光利便性向上施設の基本設計及び隣接市有地活用のための測量設計を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
基本設計完了	目　標	（　）	（基本計画策定の実施）	（基本設計完了）	（　）	（　）
	実　績		基本計画策定の実施	基本設計実施		
測量設計完了	目　標	（　）	（基本計画策定の実施）	（測量設計完了）	（　）	（　）
	実　績		基本計画策定の実施	測量設計完了		

進捗状況説明

公園内の駐車場不足対応による隣接市有地活用のための測量設計を実施し、平成26年3月に測量設計が完了した。観光利便性向上施設の基本設計については、本事業と一体となって整備する都市公園事業において、施設設置予定である造成計画の遅延により、基本設計の発注が遅れ、平成27年度に繰り越し、平成27年8月に基本設計が完了した。 今後は基本設計を基に実施設計へと事業を継続していく。

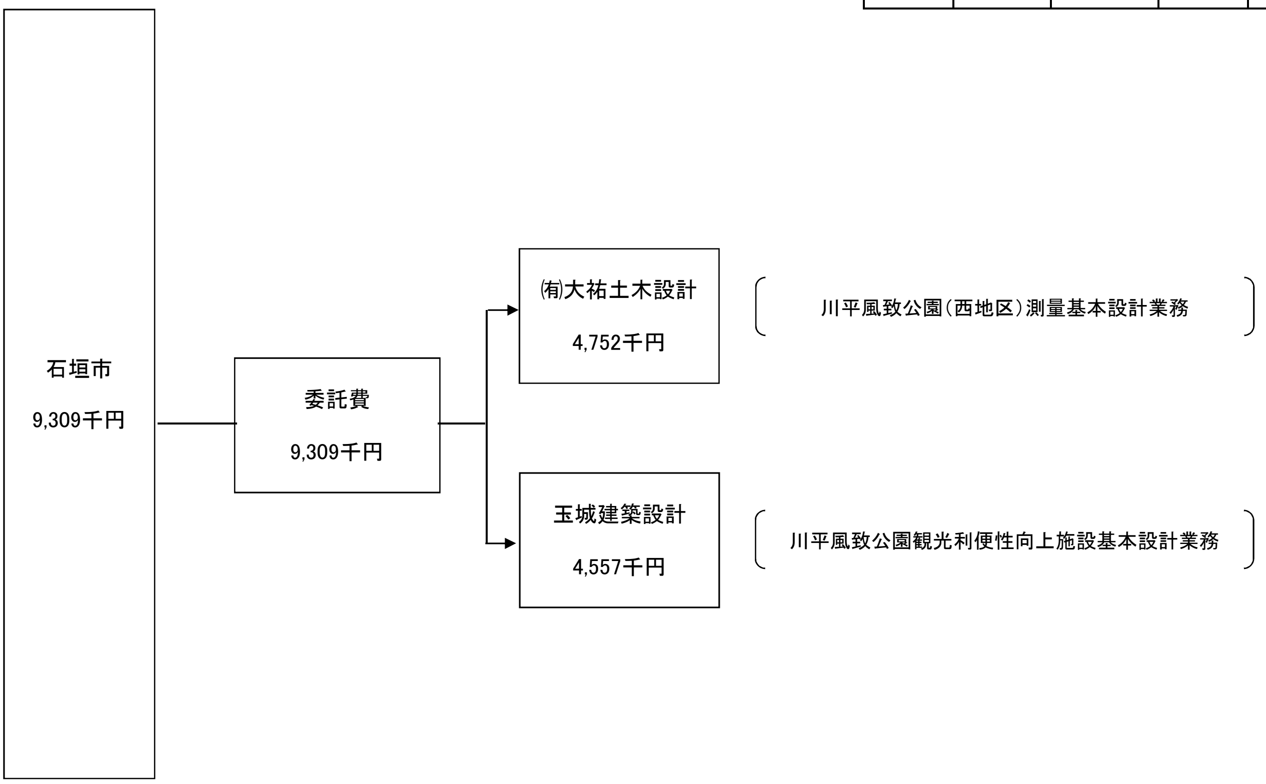
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○本市の主要観光地である「川平風致公園」の地域振興のため、物産販売所やグラスボードチケット売場を統合した施設の設置や、国指定名勝として指定を受けている現状の都市公園区域は、文化財や、拝所、水産試験場など土地の利用に関し制約が多いことから、駐車場、便益施設が設置できる区域が限られているため、区域外の市有地を活用し、川平風致公園の受入体制の整備を図る必要がある。今年度は観光利便性向上施設の基本設計及び隣接市有地活用のための測量設計を実施した。 ○公園整備の方向性として、観光利便性向上施設の整備において、平成27年度に地域関係者との調整による基本設計内容を基に、実施設計へ反映させていくが、実施設計段階でも再度、地域関係者との確認調整が必要である。 ○隣接市有地活用による都市公園区域の拡張のため、都市計画変更及び事業認可変更及び延伸手続きの必要性がある。 ○関連する既存国庫補助事業である都市公園事業による補助対象施設の区別の明確化及び事業費の平準化を考慮し、一体化として整備を行う為の事業スケジュールの調整が必要になる。	○観光利便性向上施設の基本設計内容を基に実施設計へ反映させていく。実施設計段階においても再度、地域関係者との確認調整を行っていく。 ○隣接市有地活用による都市公園区域の拡張のため、都市計画変更及び事業認可変更及び延伸手続きの調整を行っていく。 ○既存国庫補助事業である都市公園事業による補助対象施設の区別の明確化及び事業費の平準化を考慮し、一体化として整備を行う為の事業スケジュール計画を調整する。

今後の取り組み方針

平成26・27年度の川平風致公園観光利便性向上施設整備基本設計及び川平風致公園（西地区）測量基本設計に基づき、川平風致公園整備に向けて事業を継続していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,309	9,309	7,447	1,862	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は石垣市の指名登録している企業の中から、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は3社見積もり及び積算基準等により算出しており、適正であったと考えている。 ○費目・使途については、公園整備のための設計委託費に係る委託費であり、本事業目的に即し必要不可欠である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥　平久保半島エコロード整備調査事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	① 第3章 － 3 － (2) － ア ② 第3章 － 2 － (4) － イ ① 国際的な沖縄観光ブランドの確立 ② 災害に強い県土つくりと防災体制の強化
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成25～28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	平久保半島は、国立公園区域に指定されており、手つかずの自然景観が残っている。今年度は、エコロード整備に関する方針並びに平久保半島の地域資源等を活用した観光メニューの検討を含めた地域活性化に係る基本構想・基本計画の策定を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	25年度	26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度
予算の状況 (a) 当初予算額	4,735	7,000	－		
予算の状況 (b) 予算現額	4,484	7,000	－		
予算の状況 (c) 増減額（b-a）	▲ 251	0	－		
予算の状況 (d) 繰越額	－	－	6,939		
A. 計（b+d）	4,484	6,939	6,939		
B. 執行済額	4,484	61	6,328		
うち交付金充当額	3,587	49	5,062		
次年度繰越額	－	6,939	－		
執行率（%）（B/A）	100.0%	0.9%	91.0%		

予算の状況の説明	地域関係者等懇談会及び住民説明会を開催した中で、道路整備の方向性について「自然保護優先」、「利便性を優先」の2つで意見が分かれており、「自然保護優先」で概ね方向性は示されているものの、一定の利便性確保についても配慮、検討が必要となり時間を要したため、委託費に係る6,939千円を27年度へ繰り越した。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		25年度	26年度	27年度	28年度
平久保半島エコロード基本構想・基本計画の策定に向けた検討	目　標	（調査報告書の作成）	（基本構想・基本計画の策定）	（　　）	（　　）
	実　績	調査報告書の作成	基本構想・基本計画の策定		

達成状況説明	・庁内調整会議や学識経験者を含めた外部検討委員会、地域住民意見交換会を開催し、平久保半島エコロード基本構想・基本計画を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
平久保半島エコロード基本構想・基本計画の策定	目　標	（　　）	（調査報告書の作成）	（基本構想・基本計画の策定）	（　　）	（　　）
	実　績		調査報告書の作成	基本構想・基本計画の策定		

進捗状況説明	・庁内調整会議や学識経験者を含めた外部検討委員会、地域住民意見交換会を開催し、平久保半島エコロード基本構想・基本計画を策定した ・平成27年度は市道平久保半島東線及びその周辺の自然環境に係る情報を収集し、生物多様性の保全に配慮したエコロード整備に対する留意事項の検討を行う。

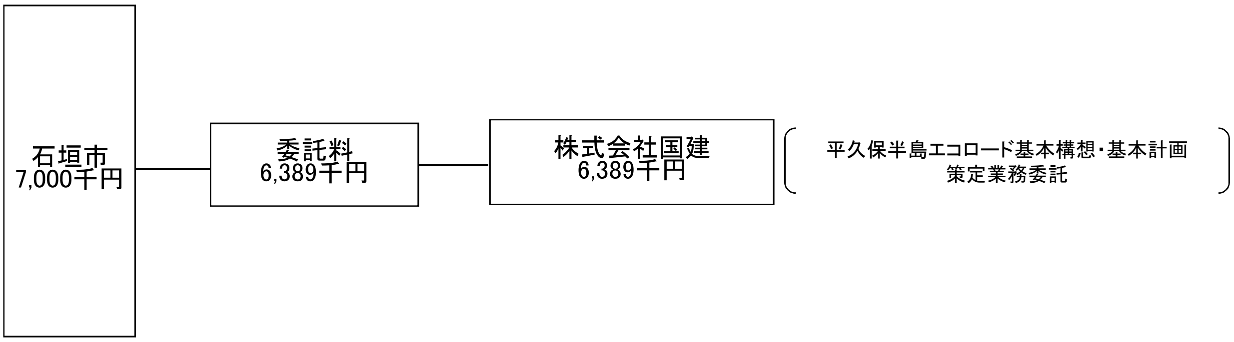
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平久保半島は西表石垣国立公園に指定されており、手付かずの景観が残されていることから、当該事業は国立公園内に位置する市道平久保半島東線のエコロード整備方針の策定や平久保半島の地域資源等を活用した観光メニューの検討を含めた地域活性化に係る基本構想・基本計画の策定を行った。 ・市道の起点と県道の間に私道が存在することから通り抜け出来ない状況にあったため、迂回路の検討を行った。 　また、地域関係者等懇談会及び住民説明会を開催した中で、道路整備の方向性について「自然保護優先」、「利便性を優先」の2つで意見が分かれており、「自然保護優先」で概ね方向性は示されているものの、一定の利便性確保についても配慮、検討が必要となり時間を要したため、27年度へ繰り越して事業を実施した。	・これまで使用されてきた私道が現在通行できない状況にあることから、私道管理者との調整を行う。調整が困難な場合は迂回路の整備について早期実現を目指す。

今後の取り組み方針

・平成27年度からは市道平久保半島東線及びその周辺の自然環境に係る情報を収集し、生物多様性の保全に配慮したエコロード整備に対する留意事項の検討行う。
・迂回路の整備について調整、検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,000	7,000	5,600	1,400	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は611千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑩	石垣市道路網計画策定事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 第5章－3－(5)－ア 観光客受入体制の整備
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度：平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	石垣市全体の道路交通機能について、観光地へのアクセス及び防災機能も含め望ましい道路の交通体系を構築するため、石垣市全体道路網計画を策定する。			
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,500	-			
	(b) 予算現額	7,497	-			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3	-			
	(d) 繰越額	－	7,497			
	A. 計 (b+d)	7,497	7,497			
B. 執行済額		0	7,497			
うち交付金充当額		0	5,997			
次年度繰越額		7,497	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			

予算の状況の説明：当該事業は、他事業と密接に関係しており、道路網の検討に関係機関との調整において時間を要したため、委託業務費7,497千円を平成27年度に繰越した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
石垣市道路網の計画策定	目　標	（　計画策定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	計画策定			

達成状況説明：石垣市道路網計画策定業務を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
石垣市道路網の計画策定	目　標	（　）	（計画策定の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		計画策定の実施			

進捗状況説明：石垣市道路網計画策定にあたっては、市道のみならず、国道、県道、農道等は密接に関連することから、国道及び県道を管理する沖縄県と市道及び農道の管理者である石垣市とで連携を図るため作業部会及び検討会等にて検討調整を行い計画を作成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○石垣島内の道路網においては、市道のみならず国道、県道、農道等と密接に関連することから、国道及び県道管理者である沖縄県、市道及び農道管理者である石垣市との調整協議等を行い、石垣島内の道路整備を推進していく必要がある。 ○石垣島内の道路整備を推進していくため、沖縄県及び石垣市とで石垣島内のみちづくり協議会にて道路整備事業等の進捗管理を行っていく。	○石垣市将来道路網計画のパブリックコメントの実施が必要である。 ○道路整備プログラム策定に必要となる検討（概算工事費算出等）を行い、道路整備プログラムの見直しが必要である。 ○既存国庫補助事業である道路事業、街路事業また市単独事業による対象路線の整理、整備を行う為の事業スケジュールの調整が必要になる。

今後の取り組み方針

平成26年度で策定した石垣市道路網計画に基づき、既存道路整備プログラム策定の見直しを検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,497	7,497	5,997	1,500	0

石垣市
7,497千円
→ 委託料 7,497千円
→ 株式会社大富建設間サルタント 7,497千円
（石垣市道路網計画策定業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は石垣市の指名登録している企業の中から、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は3社見積もり、積算基準等により算出しており、適正であったと考えている。 ○費目・使途については、道路整備のための基本計画策定に係る委託費であり、本事業目的に即し必要不可欠である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑪	旧空港跡地利用計画策定事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	① 第3章 － 1－ (7) － イ 等 歩いて暮らせる環境づくりの推進 等
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施（予定）年度：平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	
	旧空港跡地周辺エリアは観光客や多数の市民で賑わっており、新たな市街地を形成しつつあることから、近接する旧空港跡地についても、今後開発が活発化する前に具体的な計画を定め、インフラ整備の促進と適正な土地利用の誘導を目指す。

実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,448	－			
	(b) 予算現額	6,448	－			
	(c) 増減額 (b-a)	0	－			
	(d) 繰越額		6,448			
	A. 計 (b+d)	6,448	6,448			
B. 執行済額		0	6,448			
	うち交付金充当額	0	5,158			
次年度繰越額		6,448	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			

予算の状況の説明	適正に執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
旧空港跡地利用計画の策定	目 標	（跡地利用計画の策定）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績	跡地利用計画の策定			

達成状況説明

・庁内調整会議の開催
・検討委員会の開催
・国、県、市による連絡協議会の開催
・防災専門家及び医療・福祉専門家による勉強会の開催
・旧空港跡地利用に係る調査報告書の作成

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（ 年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（ 年度）
旧空港跡地利用計画の策定完了	目 標	（ ）	（跡地利用計画の策定）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績		跡地利用計画の策定			

進捗状況説明

・次年度以降の跡地利用計画の推進や土地利用計画の立案に資するよう、既存計画等の成果を踏まえつつ、新たに防災拠点及び医療・福祉拠点の可能性、既成市街地との役割分担についての検討を行った。また、土地区画整理事業を想定したスケジュール案や土地利用計画案の作成を行い、報告書としてとりまとめた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新石垣空港開港に伴い、旧空港跡地は約50ヘクタールに及ぶ広大な未利用地となっている。今後、開発が活発化する前に具体的な計画を定め、インフラ整備の促進と適正な土地利用の誘導が必要である。 また、調査検討した結果、次の課題を解決する必要がある。 ①政策に則った確実な事業推進（国・県との円滑な協議体制の構築等） ②土地利用の実現化に関する課題（公共公益施設の導入、誘致施設の検討等） ③基盤整備に関する課題（土地区画整理事業の事業性の検証、防災公園事業の事業性の検証等） ④事業の早期着手に向けた課題（県条例に基づく環境影響評価の手続き、不発弾の磁気探索等）	①各種課題解決に向けて、国・県との円滑な協議体制を構築する。 ②誘致施設の見通しを確保していく上で民間事業者への需要喚起、誘導、受容確保へ向けた計画的な取組を行う。 ③国・県との協議を踏まえ、土地区画整理事業等の事業性の検証を行う。 ④環境影響評価は長期間になることから、早期着手を目指す。

今後の取り組み方針

今後は、防災拠点、医療・福祉拠点及び観光・産業等における国、県、各分野の動向等を踏まえ、跡地の土地利用実現化に向けた条件整理及び土地区画整理事業の事業化に向けた調査・検討を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,448	6,448	5,158	1,290	0

石垣市
6,448千円
―
委託料
6,448千円
―
独立法人都市再生機構
6,448千円
（旧石垣空港跡地利用計画策定業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託は随意契約により実施しており、妥当であったと考えている。随意契約の理由としては、次のとおりである。 ①本市と独立行政法人都市再生機構は、まちづくりに関する基本協定を締結し、まちづくりに関し連携協力することを定めていること。 ②都市再生機構は県内では那覇新都心再開発の実績があり、かつての地域振興整備公団を前身として国土交通省との人事交流も活発なことから、整備手法の検討や跡地の主要な所有者である国・県との協議において、貴重な助言や情報提供、調整支援が期待できる。 ○不用額もなく適切に執行しており、予算規模は適切であった。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－⑫	人エビーチ附帯施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　港湾課	事業実施（予定）年度：平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（1）
事業内容	石垣港新港地区において整備を進めている、人エビーチの供用に向け、利用者の利便性の向上のため、ビーチ利用者が遊泳後に使用するシャワー施設・脱衣所・ロッカールーム等を整備する。			
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000	－			
	(b) 予算現額	5,000	－			
	(c) 増減額 (b-a)	0	－			
	(d) 繰越額	－	5,000			
	A.　計 (b+d)	5,000	5,000			
B.　執行済額		0	2,994			
うち交付金充当額		0	599			
次年度繰越額		5,000	－			
執行率（%）（B/A）		0.0%	59.9%			

予算の状況の説明：平成26年度予算は設計業務について入札を行い、入札残分を補正にて減額した。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
設計業務委託の実施	目　標	（　実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施			

達成状況説明：平成26年度に設計業務を行った。平成27年度はこれを元に整備を進めていく。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
設計業務委託の完了	目　標	（　）	（　完了　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完了			

進捗状況説明：平成27年6月末で設計が完了。27年度予算にて平成28年5月に整備が完了し、7月の人エビーチ一時供用開始に合わせた当施設の供用開始に向けて手続きを行っている。

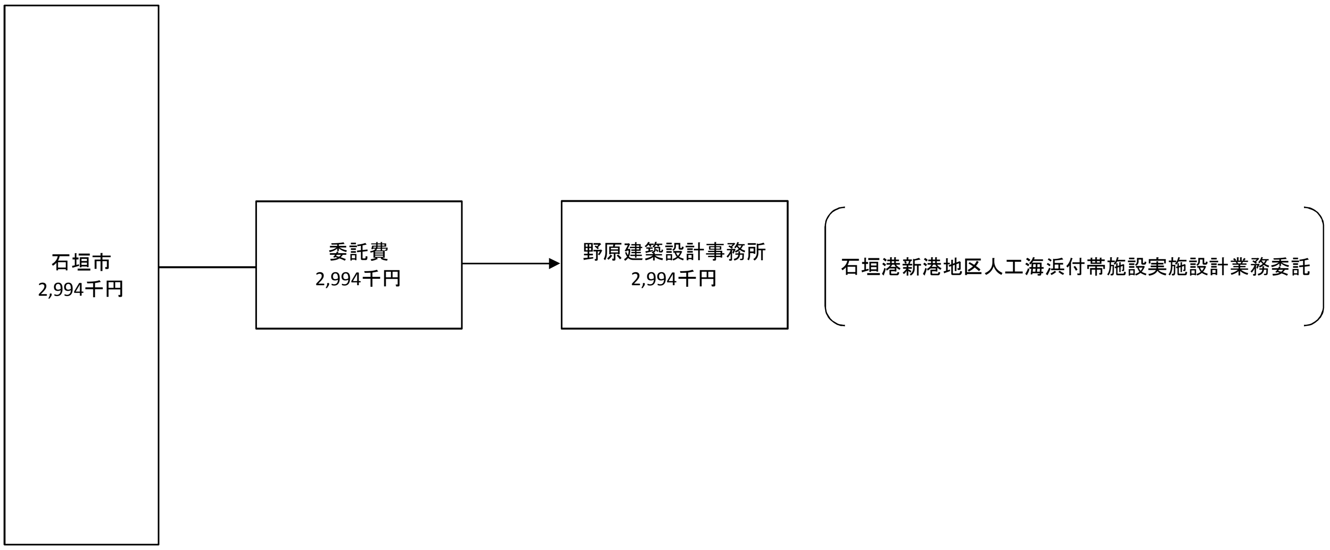
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新港地区にて整備中の人工ビーチは市民からの期待も大きく、また観光客へのアピールポイントとしても非常に関心が高い案件である。 ゆえにその設計・整備には内装・外観含め、慎重に協議を重ねる必要があり、当初計画よりも整備に遅れが生じた。	当初計画より整備が遅れてしまったが、今後事業実施の際には関係者との事前協議を重ね意思疎通を図ると共に、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう、余裕を持った工期設定を行う。

今後の取り組み方針

平成28年7月の人工ビーチ一時供用開始に合わせて当施設も供用開始し、観光客の利用促進を図る。
また、保安要員として当課の職員を配置することにより、当該施設の管理ひいては人工ビーチの管理における課題点の発見、解消に努め、今後の整備の参考とする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,994	2,994	2,395	599	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△予算規模について補正減額が2,006千円あり、入札残によるものとはいえ、当初の予算計上方法に課題が残る。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	青と緑の再生プロジェクト	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3ー1ー(3)ーイ クリーンエネルギーの推進
担当部課名	観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施（予定）年度 H24～H26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	川平湾の保全策として環境にやさしいEV船の導入推進を図るために、EV船が利用できる充電施設を設置する。			
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）			

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
予算の状況 (a)当初予算額	16,225				
予算の状況 (b)予算現額	16,225				
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0				
予算の状況 (d)繰越額		10,000			
予算の状況 A. 計(b+d)	16,225	10,000			
B. 執行済額	5,596	9,990			
うち交付金充当額	4,476	7,992			
次年度繰越額	10,000				
執行率（%）(B/A)	34.5%	100%			

予算の状況の説明：当初既製品充電システムの納入に係る工事を予定していたが、整備環境に対応したシステムを導入する必要が生じ、環境の特殊性や整備における要件に対応したシステムの納入に必要となるため、工事請負費10,000千円を委託費に変更し、公募提案型プロポーザル方式の委託契約を行った。それに伴い、公募の条件整備から施行まで日数を要した為、設置業務に係る委託料を27年度に繰り越した。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
充電施設の設置：1機	目　標	（　1機　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1機			
導入効果について検証	目　標	（　実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施			

達成状況説明：石垣市を代表する景勝地である川平湾を環境と観光の共生を図るモデル地区として捉え、定番観光メニューであるグラスボートの課題解消等にも取り組むうえで、EV船導入を推進する効果検証の実施、円滑なEV船の稼働を促す急速充電器を設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
充電施設の設置完了	目　標	（　）	（　設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		設置			
導入効果についての策定書	目　標	（　）	（　策定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		策定			

進捗状況説明：川平湾におけるEV船導入を推進するうえで、EV船稼働の信頼性、作業効率性、安全性を確保するため、検証を行い報告書を策定した。また急速充電システムの設置を行うことができた。

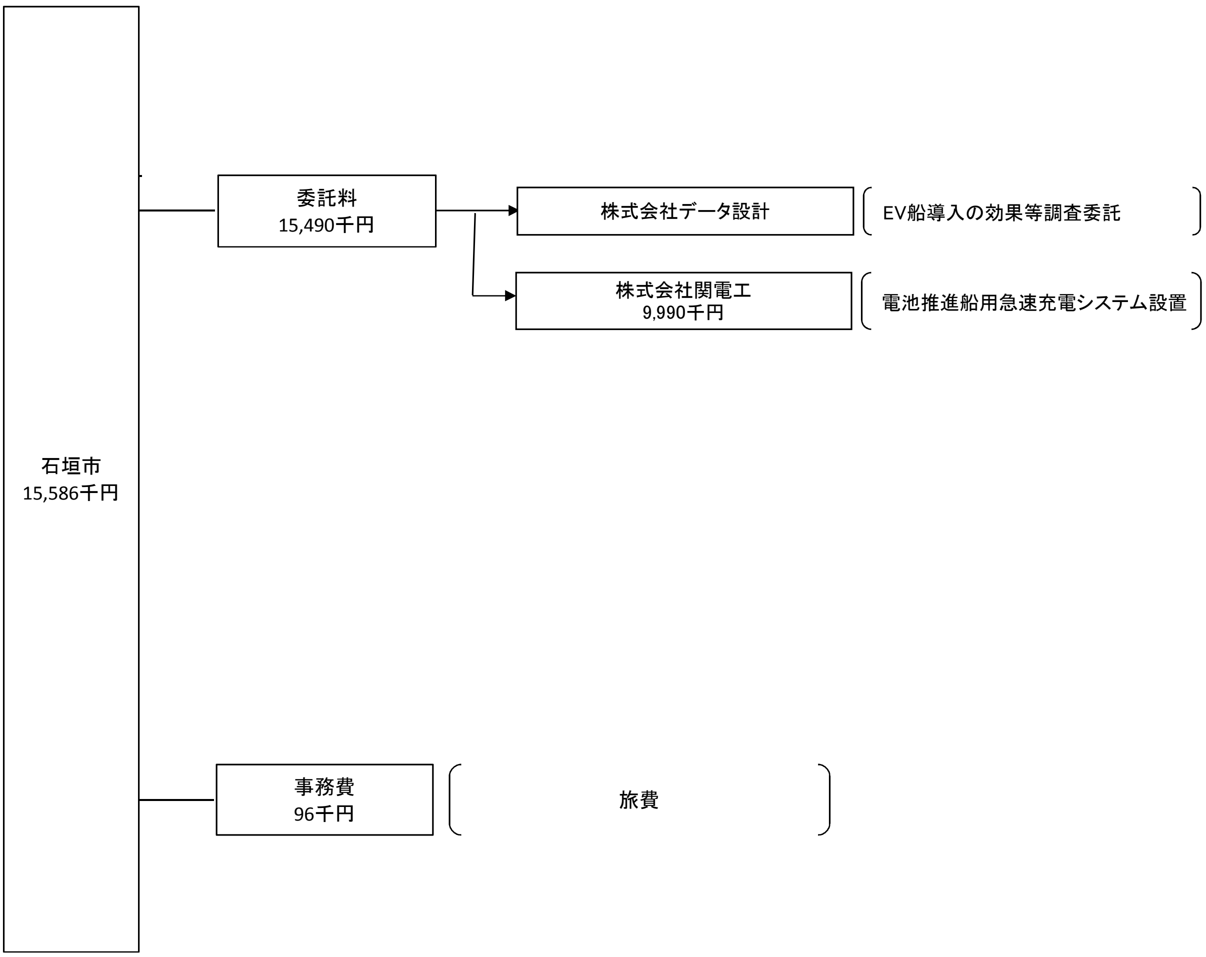
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本市の代表的景勝地である川平湾が持続可能な観光地であることを推進するため、グラスボート係留施設整備の計画等を見据え、電気自動車等の充電提供にも寄与できるよう川平湾エリアの観光拠点化を推進したい。	EV船の導入普及を推進する取組が必要であり、国の排ガス規制やEV化を図る補助制度等の動向に留意するなど、継続した導入推進を行いたい。

今後の取り組み方針

国等のEV船普及が対象になる補助事業等の情報収集。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,586	15,586	12,468	3,118	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、プロポーザル方式で公募した上で決定しており妥当である。 ○予算規模は、不用額は10千円であり、適正な規模である。 ○費目、使途は事業目的に即し、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	石垣市エコアイランド事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3) 低炭素島しょう社会の実現
担当部課名	建設部　施設管理課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（１）
事業内容	防犯灯及び街路灯をLED化し省電力化を図り、低炭素島しょ社会の実現に向けた取り組みを推進する。また、安全で自然豊かな石垣島の水をとおし、 自然環境保全の必要性を知ってもらうため、石垣島マラソンやイベントなどでPRボトルウォーターを提供し普及啓発を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	25年度	25年度（繰越）	26年度	26年度（繰越）	27年度
予算の状況 (a)当初予算額	60,397	0	87,650	0	
予算の状況 (b)予算現額	58,394	0	87,650	0	
予算の状況 (c)増減額(b-a)	▲ 2,003	0	0	0	
予算の状況 (d)繰越額	0	10,343	0	10,672	
A.　計(b+d)	58,394	10,343	87,650	10,672	
B.　執行済額	48,051	10,263	76,977	6,493	
うち交付金充当額	38,440	8,210	61,582	5,194	
次年度繰越額	10,343	0	10,672	0	
執行率（％）(B/A)	82.3%	99.2%	87.8%	60.8%	
予算の状況の説明	防犯灯LED化については当初予定していた数より少ない整備数で全整備が完了したため不用となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		24年度	25年度	26年度	27年度
①防犯灯LED化数：774基	目　標	（　259基　）	（　423基　）	（　774基　）	（　）
	実　績	270基	525基	739基	
②既存街路灯LED化取替え工事	目　標	（　150基　）	（　170基　）	（　工事実施　）	（　）
	実　績	150基	126基	実施	
③ペットボトル500mlを20,000個製造し、石垣島マラソンやイベント等で無償提供する。	目　標	（　）	（　）	（　20,000個製造 無償提供　）	（　）
	実　績			20,000個製造 無償提供実施	
達成状況説明	防犯灯・街路灯それぞれのLED化を実施した。防犯灯は当初より少ない整備数で完了しているのは、昨年度で前倒しで多く整備した数をH26年度に反映していなかったためである。また、石垣島の水をペットボトルに詰め、石垣島マラソン等で参加者に配布を行い、おいしい水を通して石垣島の豊かな自然をPRすることができた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
①防犯灯LED化完了：774基	目　標	（　）	（　259基　）	（　423基　）	（　774基　）	（　）
	実　績		270基	525基	739基	
②既存街路灯のLED化完了：55基	目　標	（　）	（　150基　）	（　170基　）	（　55基　）	（　）
	実　績		150基	126基	117基	
③PRボトル20,000個製造	目　標	（　）	（　）	（　）	（　20,000個製造　）	（　）
	実　績				20,000個製造	
進捗状況説明	防犯灯は予定通りLED化を実施した。街路灯LED化については1基あたりの単価が、当初見積りより低かったため、55基予定してた整備数を増やし117基のLED化を実施した。これをもって全街路灯のLED化を完了している。PRボトルに関しては、20,000個を製造し、各種イベント等で配布をした。					

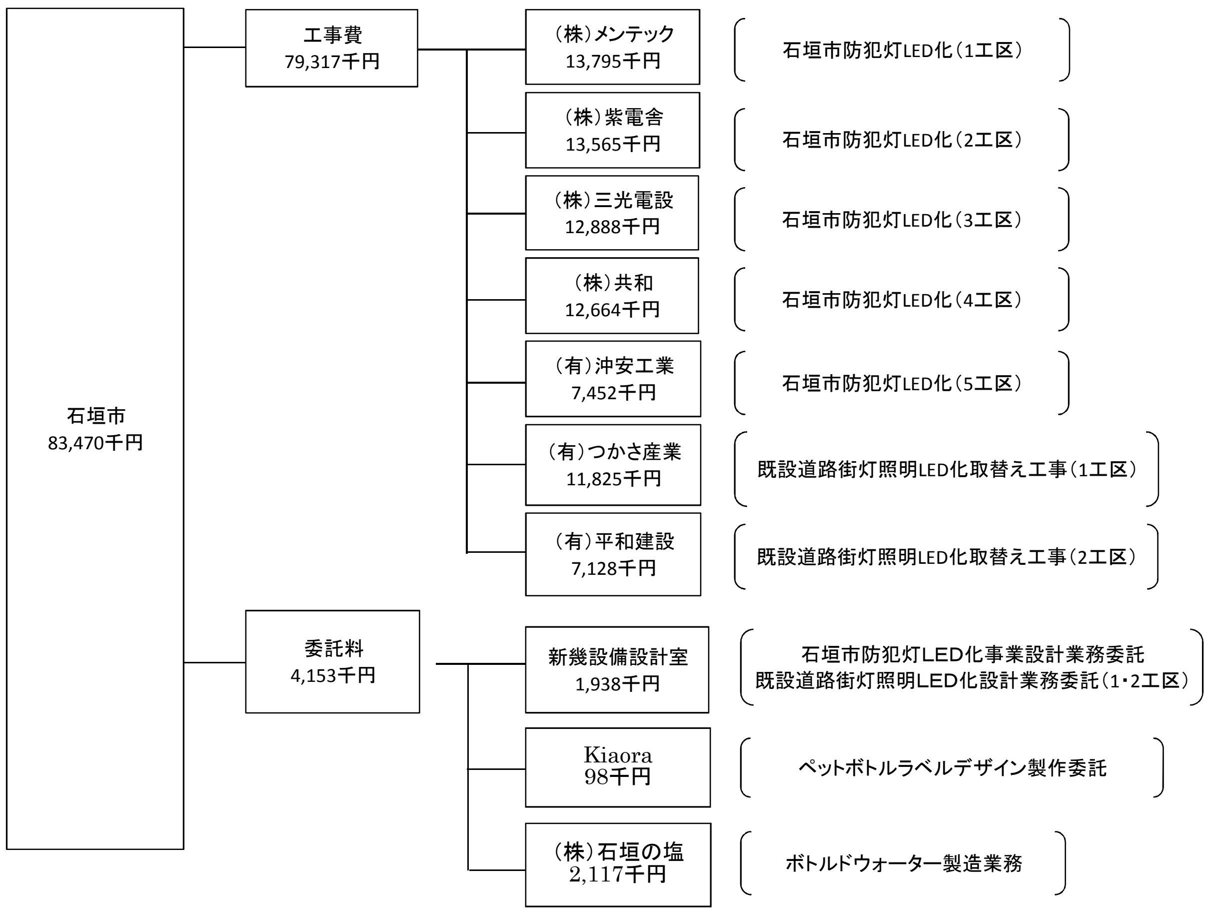
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	LED化推進により、町並みが明るくなるとともに、省エネや自然環境保全に対する市民の意識向上を図り、エコアイランド構想の実現へとつながっている。 PRボトルについては、商品が一般的な水道水であることから水自体では他社製品および他県他市のPR用ペットボトルとの差別化が難しい面もある。	防犯灯・街路灯は、事業効果を継続して発揮するために適切な維持管理の体制づくりが必要である。 水道水が安心安全でなおかつ「おいしく」飲めることをPRし、その水を生み出す豊かな自然の保護の必要性をPRする必要がある。

今後の取り組み方針

全防犯灯及び街路灯のLED化を完了したので、低炭素島しょ社会を実現へむけ維持管理に努める。維持管理体制については委託方法を含めてもっとも効率のよい管理方法を実施して行く。PRボトルについては、今後追加で作成する場合、石垣島をより多くPRできるよう様々な手法を検討していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
83,470	83,470	66,776	16,694	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事は、指名競争入札を行い公平公正な契約となり得た。 ○予算規模については、設計委託業務における積算を基に精査し執行に努めた。 ○費目・使途については、石垣市エコアイランド事業のみに使用しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	”石垣産の牛”生産推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－3－（7）－ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	農林水産部畜産課	事業実施（予定）年度：平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（6）

事業内容	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他石垣牛の宣伝や肥育牛の増頭支援など、肉用牛生産を一体的に推進する。
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	26年度（繰越）	27年度
予算の状況	(a) 当初予算額	15,334	20,265	37,380	－	
	(b) 予算現額	15,334	20,265	44,520	－	
	(c) 増減額（b-a）	0	0	7,140	－	
	(d) 繰越額	－	－	－	7,200	
	A. 計（b+d）	15,334	20,265	44,520	7,200	
B. 執行済額		11,188	12,711	30,157	9,446	
うち交付金充当額		8,950	10,168	24,126	7,200	
次年度繰越額		0	0	7,200	0	
執行率（％）（B/A）		73.0%	62.7%	67.7%	131.2%	
予算の状況の説明		不用額については、市況の影響により、高齢繁殖母牛早期淘汰促進事業及び緊急優良母牛更新事業の補助頭数が少なかったことが主な理由である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		24年度	25年度	26年度	27年度
①靴底消毒の実施	目標	（ 消毒マット設置 ）	（ 消毒マット設置 ）	（ 消毒マット設置 ）	（　）
	実績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
②優良母牛の導入	目標	（ 優良母牛の導入 ）	（ 優良母牛の導入 ）	（ 優良母牛の導入 ）	（　）
	実績	母牛導入実施	母牛導入実施	母牛導入実施	
③高齢母牛の淘汰	目標		（ 高齢母牛の淘汰 ）	（ 高齢母牛の淘汰 ）	（　）
	実績		母牛淘汰実施	母牛淘汰実施	
④石垣牛広告を電光掲示	目標		（ 電光掲示広告の実施 ）	（ 電光掲示広告の実施 ）	（　）
	実績		電光掲示広告の実施	電光掲示広告の実施	
⑤牛舎整備の補助	目標			（ 牛舎整備の補助 ）	（　）
	実績			牛舎整備補助実施	
達成状況説明	①、④について前年度より継続して実施。②、③については4月から事業着手。⑤については交付決定後関係手続き着手。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
①空港等への消毒マット設置	目標	（　）	（ 通年設置 ）	（ 通年設置 ）	（ 通年設置 ）	（　）
	実績		通年設置	通年設置	通年設置	
②導入80頭	目標	（　）	（ 70頭 ）	（ 40頭 ）	（ 80頭 ）	（　）
	実績		58頭	39頭	75頭	
③淘汰250頭	目標	（　）	（　）	（ 300頭 ）	（ 250頭 ）	（　）
	実績			147頭	131頭	
④空港到着ロビーでの掲示	目標	（　）	（　）	（ 広告掲示 ）	（ 広告掲示 ）	（　）
	実績			広告掲示	広告掲示	
⑤肥育牛の安定供給体制構築（30頭分の肥育牛舎整備補助）	目標	（　）	（　）	（　）	（ 30頭分整備 ）	（　）
	実績				48頭分整備	
進捗状況説明	導入牛について、申込頭数が計画より大幅に多かったため、年度途中において予算増額し、75頭を導入している。本事業ではH24～H33年度の10年間で合計500頭の導入を計画し、今年度までの進捗率は34%となっている。淘汰牛について、経産牛家畜セリ生体価格の高騰が継続し、本事業での淘汰が目標頭数を下回っている。肥育牛舎については、3戸30頭分の整備目標に対し、3戸48頭分の整備が完了した。					

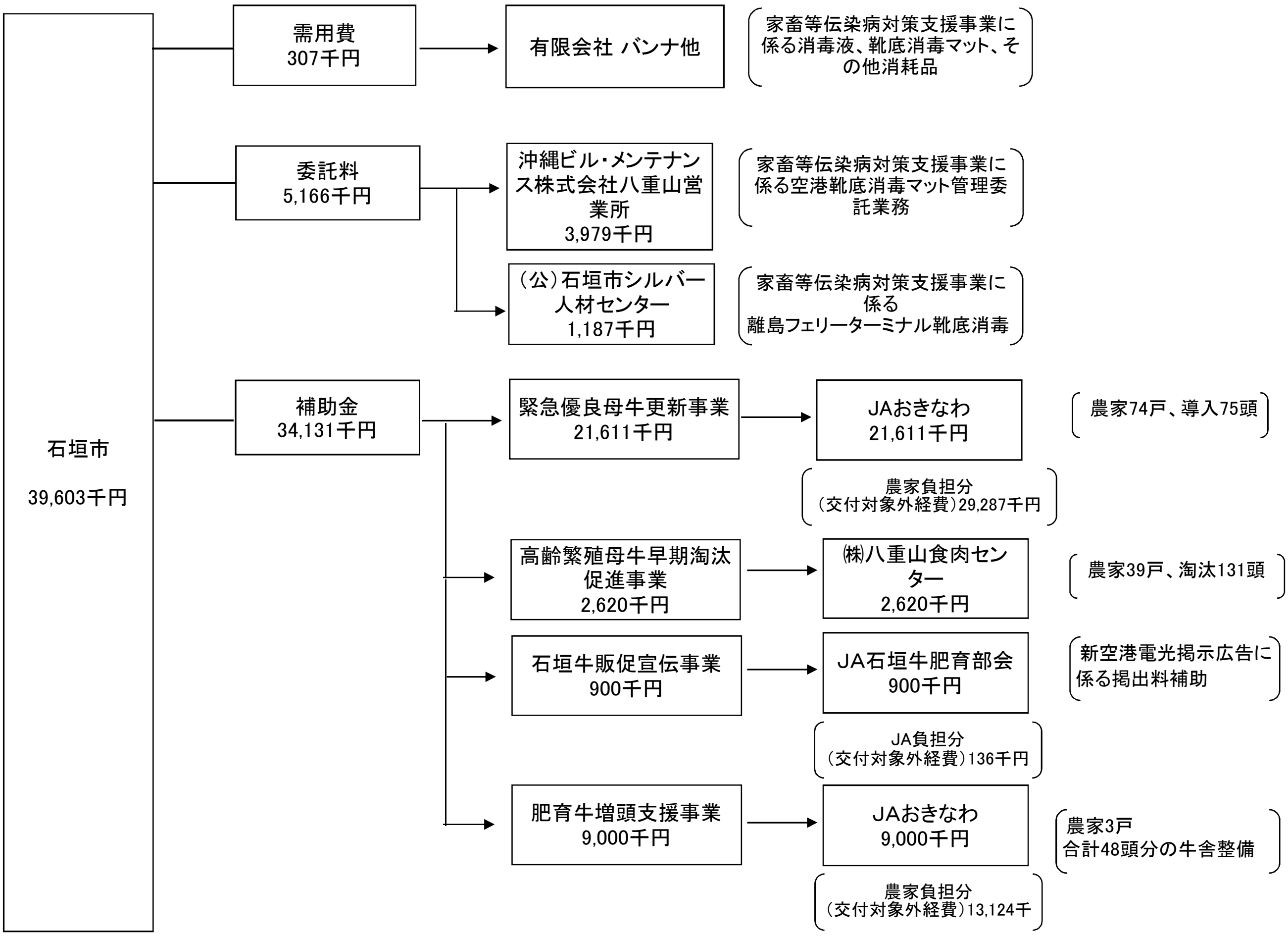
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①家畜等伝染病対策支援事業 入域観光客が増加し、ウイルス侵入リスクが高まっている。 ②緊急優良母牛更新事業 生産農家の意識向上により、導入希望農家数が計画を大幅に上回っている。 ③高齢繁殖母牛早期淘汰促進事業 家畜セリ価格の高騰に伴い、本事業での母牛淘汰が少ない。 ④石垣牛販促宣伝事業 本事業の効果等により、肥育牛の消費が拡大している反面、品薄となっているため、新たな取組「肥育牛増頭支援事業」をH26において追加実施。 ⑤肥育牛増頭支援事業 牛舎整備に係る関係法令の許認可に時間を要し、竣工が遅れる傾向にある。	①今後も引き続き水際での靴底消毒を徹底し、リスク低減を図る。 ②農家要望に対応するためには、現在の導入先のみでは今以上の頭数を導入するのは難しいため、新規導入先を検討し導入可否を見極め、計画頭数を増頭していく。 ③家畜セリでの高齢母牛出荷増により、地域内高齢母牛の淘汰は進んでいると考えられる。事業を継続実施し、高齢母牛の淘汰を推進する。 ④継続してPRを行い、島内消費の促進及び希少価値の高いブランド力向上を図る。 ⑤H26整備済の牛舎を参考に、より飼育環境の整った牛舎整備を実施し、生産体制強化を図る。

今後の取り組み方針

緊急優良母牛更新事業については、導入希望頭数が計画頭数を大幅に上回っており、各農家から計画頭数の増頭が求められている。しかし、現在の主な導入先である鹿児島県等の家畜セリ市場のみでは、希望頭数全てを導入するのは現実的に厳しい。そのため、次年度は新規導入先を開拓するなどして優良母牛の確保可否を見極め、計画増頭を検討する。
その他、肥育牛の安定供給が喫緊の課題となっているため、肥育牛舎の整備補助を引き続き実施し、その増頭を図るなど、石垣産の和牛生産基盤を一体的に推進する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
82,149	39,603	31,326	8,277	42,546



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・靴底消毒マット管理委託業務について、随意契約となっているが、当該業務は巡回点検が必要であり、またセキュリティの観点から当該施設に常駐する清掃業者等への委託に限定されるため随意契約となっている。 ・予算規模は適正な規模である。 ・受益者負担について、緊急優良母牛更新事業、肥育牛増頭支援事業とも1/2以上を農家が負担している。空港看板は維持管理費等を受益者が負担しており各事業妥当である。 ・その他費目、使途については、支出等に関する書類により確認。必要最低限であり適正。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２６年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-③　水産振興事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－ア 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
担当部課名	農林水産部水産課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	養殖漁業の経営安定化を図るためヤイトハタの種苗の輸送補助を行い、新鮮な魚介類を安全に提供するため、清浄海水施設を改修する。また、沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための養殖実証試験を引き続き行う。		
実施方法	■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）		

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	26年度（繰越）
予算の状況	(a) 当初予算額	48,305	－	41,276	17611	－
	(b) 予算現額	46,307	－	15,968	15031	－
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,998	－	▲ 25,308	▲ 2,580	－
	(d) 繰越額	－	11,582	0	0	13,977
	A. 計 (b+d)	46,307	11,582	15,968	15,031	13,977
B. 執行済額		34,725	9,482	15,968	15,031	13,943
うち交付金充当額		27,780	7,585	12,774	12,024	11,154
次年度繰越額		11,582	0	0	13,977	0
執行率（%）(B/A)		75.0%	81.9%	100.0%	100.0%	99.8%

予算の状況の説明
26年度の2,580千円の予算減額については、主に事業計画変更により石垣漁港施設改修事業、アカジン（スジアラ）養殖実証試験事業の事業追加に伴う28,099千円を予算増額し、漁場保全事業休止に伴う委託料16,200千円を減額した等が要因です。また、繰越については、計画の遅れ等から石垣漁港施設改修事業の清浄海水施設改修及びアカジン（スジアラ）養殖実証試験事業の設備工事費13,977千円を繰り越した。

活動目標（指標）及び達成状況

H26活動目標（指標）		26年度	27年度	28年度	29年度
ヤイトハタ種苗輸送費の補助	目標	（補助実施）	（　）	（　）	（　）
	実績	実施			
清浄海水施設の改修	目標	（改修実施）	（　）	（　）	（　）
	実績	実施			
アカジン（スジアラ）養殖実証試験事業の実施	目標	（実施）	（　）	（　）	（　）
	実績	実施			

達成状況説明
ヤイトハタ種苗輸送は養殖漁業の経営安定化を図るため計画通り石垣市～沖縄本島本部町間の輸送支援を実施した。また、アカジン養殖実証試験は、696尾のアカジン幼魚に飼料にユーグレナ粉末を添加したユーグレナ添加実験区347尾（平均体長22.6cm、体重154.9g）とユーグレナ粉末無添加の無添加実験区349尾（平均体長22.6cm、体重151.1g）を30尾ずつ無作為に選び測定等を行う養殖実証試験を実施した。また、同試験を実施する種苗供給施設の濾過器を改修する設備工事を実施したが、計画等の遅れにより翌年度へ繰り越した。清浄海水施設の改修は石垣漁港の荷さばき所（セリ市場）において、施設の洗浄や新鮮な魚介類等の輸送に使用している清浄海水施設が老朽化により、清浄海水の品質低下が危惧されることから、取水・ろ過系統の充実を行い水産物の衛生管理を図る改修工事を実施した。また、本取組も計画等の遅れにより翌年度へ繰り越した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H26成果目標（指標）		基準値（　年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（　年度）
ヤイトハタ種苗輸送数：60,000尾	目標	（　）	（60,000尾）	（　）	（　）	（　）
	実績		65,149尾			
清浄海水施設の改修の完了	目標	（　）	（改修完了）	（　）	（　）	（　）
	実績		改修完了			
実証実験の実施によるアカジン（スジアラ）養殖のユーグレナ添加餌投与成長比較データの把握	目標	（　）	（データ把握）	（　）	（　）	（　）
	実績		データ把握実施			

進捗状況説明
ヤイトハタ種苗輸送は目標値60，000尾に対して65，149尾の輸送となった。計画を上回った要因としては、数名の方の種苗が魚病等の発生に伴うへい死により追加配布があったためと考えられる。アカジン（スジアラ）養殖実証試験は、27年1月にアカジンの成長に伴い水槽が狭あいになって成長阻害するためにユーグレナ、無添加とも160尾づつに間引き選別した。27年3月末実績でユーグレナ添加実験区160尾（平均体長27.0cm、体重251.6g）とユーグレナ粉末無添加の無添加実験区131尾（平均体長27.1cm、体重249.2g）となり、出荷サイズである養殖目標サイズの500gにはまだ達していません。もう一方の目標であるユーグレナ添加実験区での無添加区より魚体重での15%向上についても、現時点で大きな差は見られなかった。また、清浄海水施設の改修は石垣漁港の荷さばき所（セリ市場）において、施設の洗浄や新鮮な魚介類等の輸送に使用している清浄海水施設が老朽化により、清浄海水の品質低下が危惧されることから、取水・ろ過系統の充実を行い水産物の衛生管理を図る改修工事を実施した。また、同時に隣接する水産加工施設への清浄海水供用も開始した。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
・養殖漁業の経営安定化を図るため石垣市～沖縄本島本部町間のヤイトハタの種苗の輸送支援を実施した。清浄海水施設の改修は石垣漁港の荷さばき所（セリ市場）において、施設の洗浄や新鮮な魚介類等の輸送に使用している清浄海水施設が老朽化により、また、清浄海水の品質低下が危惧されることから、新鮮な魚介類を安全に提供するため、清浄海水施設を改修した。また、沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための養殖実証試験を実施した。 ・ヤイトハタ種苗輸送費補助は計画を達成しているので、引き続き次年度以降も計画どおりの事業推進を図りたい。 ・アカジン（スジアラ）養殖実証試験は、今年度事業開始時に当初目標としていた養殖目標サイズ（出荷サイズ）300gに近い個体がいて、今年度中もしくは、次年度初めには300gを超える見込みがあったので、今後の養殖方針も含め技術協定を結ぶ研究機関等にも相談し、検討した。	・アカジン（スジアラ）養殖実証試験は、検討の結果元々出荷サイズは300～500gであるので、見た目でも見栄えの良い500gに養殖目標を変更し次年度も試験を継続することとなった。また、事業開始後、27年1月にアカジンの成長に伴い水槽が狭いになって成長阻害するためにユーグレナ、無添加とも160尾づつに間引き選別し試験を引き続き実施した。 ・石垣港施設改修事業の清浄海水施設改修工事については、当初、既存荷さばき施設及び新設製氷施設での使用を想定していたが、整備段階で加工場の新設計画が具体化し、計画の見直しが必要となったため、工事の発注が遅れ年度内の完成が困難となり繰り越した。

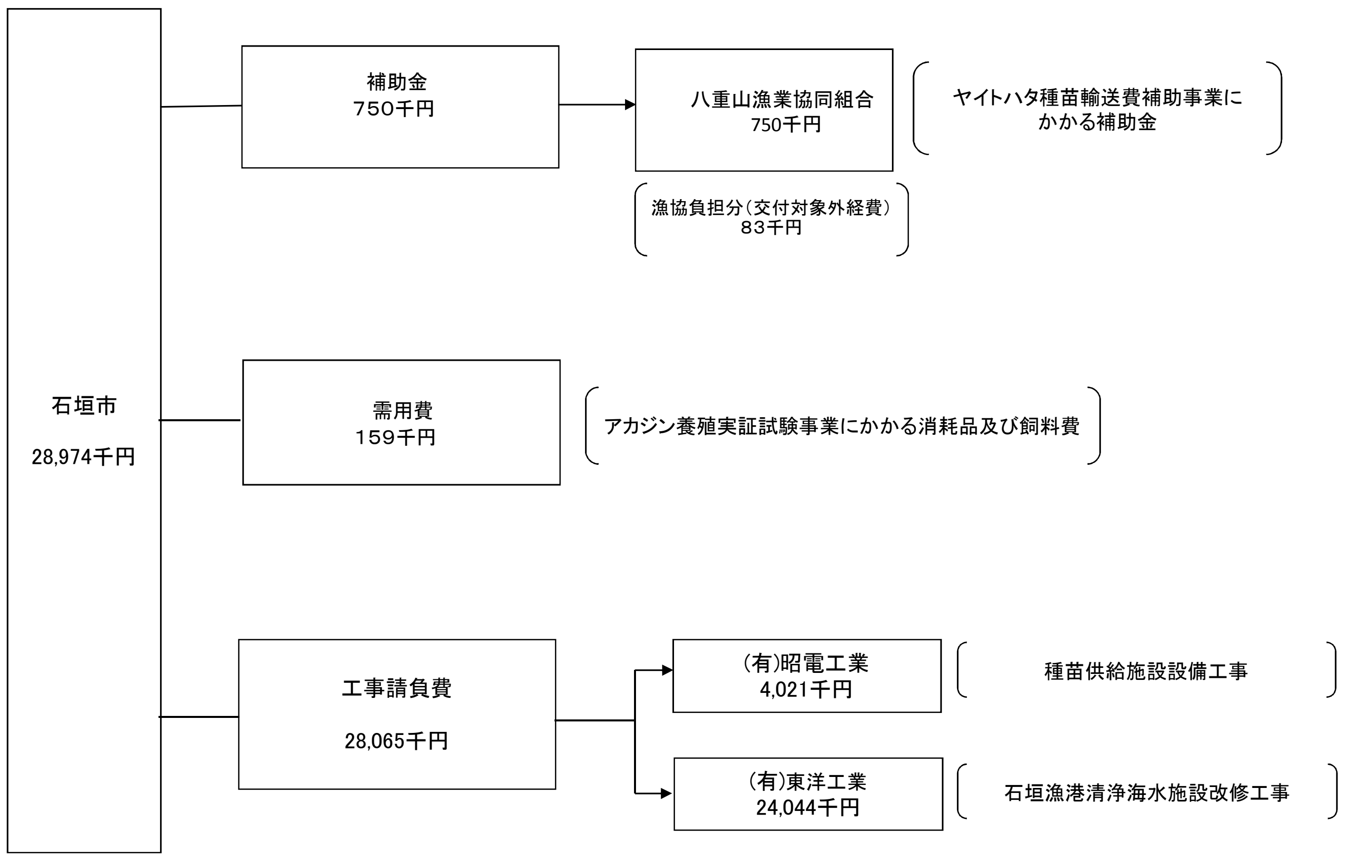
今後の取り組み方針

・ヤイトハタ種苗輸送費補助は本市水産業の重要魚種であるため、今後も引き続き次年度以降も実施して行きたい。また、予算規模において予算減額があったので、適正かつ効率的な予算規模になるよう努めたい。
・アカジン（スジアラ）養殖実証試験は、今年度見直した養殖目標サイズ500g達成に向け、最終年度の次年度まで餌の大きさ、分量等の詳細な技術指導等を引き続き西海区水産研究所等の協力のもと実施していきたい。
・清浄海水施設の施設改修後は、八重山漁協が管理運営する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,974	28,974	23,178	5,796	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事請負業者は指名競争入札により適正に選定を行っており、妥当であったと考えている。
×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は実績で事業費の約15%の予算減額となっているので、適正な規模となっていない。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者との負担関係については、1割を受益者が負担しているので、適正であると考える。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。